

嘘いつわりのない本当の出来事のように！リズムカルな話芸

～恐ろしいほど美しい・幕末土佐の天才絵師「絵金」の生涯～

たまだ ぎょくしゅう さい

講談師 玉田玉秀齋の

『講談 絵金』

江戸時代末期の土佐に生まれた絵師・金蔵（1812 - 76）は、髪結いの息子から出世し、21歳という若さで土佐藩の家老・桐間家のお抱え絵師となりながら、狩野探幽の贋作を描いた疑いで御用絵師の身分を剥奪、城下を追放されました。土佐・赤岡（現在の高知県香南市赤岡町）に住んでいた伯母を頼って滞在したと伝えられ、この地で、町絵師として活躍した金蔵が得意としたのは、斬られた人の血しぶきが舞う場面や、赤子を連れ去る大鷲など、見る人が怖じ気づくほどの芝居の瞬間を切り取り、色鮮やかに描いた芝居絵屏風でした。ただ、その迫力と、恐ろしいだけではない技巧は人々を魅了し、金蔵は「絵金」の名で、土佐の民衆の間に広く知られるようになりました。

謎に包まれた金蔵の生涯を、四代目・玉田玉秀齋がオリジナルで創作し、見えてきたように講談で語ります。

口演前後は、自由に絵金展の鑑賞ができます。あべのハルカス美術館上席学芸員の藤村忠範さんの絵金展の見どころ解説もあります。

2023年
日時 5月3日 水・祝 18:15～20:00

※17:00からご入場（自由鑑賞）が可能です。

※当日、ミュージアムショップの営業は18:00までです。※当日、音声ガイドの貸出はございません。

会場 あべのハルカス美術館
大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 16階

参加費 4,000円
定員 50人（先着）
定員になり次第募集は終了します

- ①絵金オリジナル講談
- ②上席学芸員の見どころ解説
- ③展覧会のチケット
- ④展覧会公式ポスター（非売品・B3サイズ） 付き

申し込み・問い合わせ

よみうりカルチャー OSAKA

大阪よみうり文化センター
大阪市北区野崎町5-9
読売新聞大阪本社内



TEL : 06-6361-3325
Mail: honbu@oybc.co.jp

よみカル大阪 検索

会場・交通アクセス

- あべのハルカス美術館
- 近鉄「大阪阿部野橋」駅西改札
- JR「天王寺」駅中央改札
- 地下鉄御堂筋線「天王寺」駅西改札
- 地下鉄谷町線「天王寺」駅南西/南東改札
- 阪堺上町線「天王寺駅前」駅



伊達競阿国劇場 二曲「一隻屏風・紙本彩色 香南市赤岡町本町一區」
※前期展示（5/23～5/26）
※後期展示（5/23～5/26）

浮世柄比翼稲妻 鈴ヶ森（部分）
二曲「一隻屏風・紙本彩色 香南市赤岡町本町一區」
※前期展示（4/22～5/21）

主催＝よみうりカルチャー大阪
後援＝読売新聞大阪本社